

令和4年度 事業計画書

自：令和4年4月1日

至：令和5年3月31日

一般社団法人 大学アライアンスやまなし

1. 活動方針

一般社団法人 大学アライアンスやまなし(以下、本法人)は、大学相互間や大学と研究機関等との間における連携推進事業を行い、教育、人材育成、研究及び運営に係る各種事業を円滑に実施できる仕組みを構築することを目指している。

本法人は、令和3年3月29日に全国初となる“大学等連携推進法人”の認定を受けたことから、参加法人会員(以下、参加大学)においては、令和3年度から教養教育分野を中心に“連携開設科目”を開設するなど、これまでにない教育事業を開始している。

そこで、令和4年度においては、全国に先駆けて、各大学で実施している“連携開設科目”の拡充を図ることで、参加大学の教育事業の更なる推進に貢献する。具体的には、教養教育分野では、各大学の強み・特色を活かし、対象となる科目を増加するとともに、専門教育分野でも連携開設科目の導入を図るなど、“大学等連携推進法人”の教学上の特例措置を活用した連携事業の検討を進め、確実に実現していく。併せて、昨年度に策定した“中期事業計画(令和3年11月4日総会決議)”に基づき、具体的な連携事業に係る検討から実施に至るプロセスを着実に進めていくとともに、本法人の活動状況等を広く社会に発信していく。

さらに、教育分野での連携事業だけでなく、大学間連携の枠組みを活用し、学生支援事業を始めとする様々な事業を実施することで、参加大学の学生に多くのメリットを享受できるようにするとともに、参加大学間の調整を図ることで、利便性の向上を図る。また、参加大学の管理運営に係る分野においても、連携によるスケールメリットを活かした事業等を継続することで、各大学の効率的な大学運営に寄与する。

これら、幅広い分野における事業の企画等においては、参加大学と連携を強化することで密接な協力体制を構築するとともに、事業構想にあたっては、有識者等からの大局的な視点を取入れ、法人の運営組織を強化することで、確実に事業実施に繋げていく。

本法人の枠組みにより、参加大学の機能強化を促進できるよう、社会からの要請等に柔軟かつ迅速に対応できるよう、前例にとられない方法や仕組み等を積極的に取り入れていくとともに、予算や人員などの資源を優先して投下し、本法人の運営体制及び参加大学の組織整備を遅滞なく進めていく。

上記活動の実現に向け、本法人が参加大学に対して適切にガバナンスを掛けることで、連携事業の推進や実行性を担保していく。

2. 事業計画

2-1: 総務関係

2-1-1: 会議等の開催

本法人の事業運営および財務等に関する重要事項の審議や、本法人に対する多様な意見を把握し、運営に反映するため、次の会議等を開催する。

また、理事会傘下に設置した委員会においては、具体的な連携事業構想を検討するとともに、教育分野に係る質保証を担保する。

- (1) 総会
- (2) 理事会
- (3) 大学等連携推進評議会
- (4) その他会議等
 - ・ 連携事業実施委員会
 - ・ 教育の質保証委員会
 - ・ その他

2-1-2: 事務局の運営

本法人の事務局では、会員との正確かつ迅速な情報共有を図るとともに、会員間で効果的な連携体制を構築し、会議や外部機関等への申請・報告等の手続きをはじめ、法人運営をスムーズに行っていくため、次の事業を行う。

- (1) 事務局組織の機能強化
- (2) 事務局運営の改善
- (3) 法人運営に必要となる各種規則等の整備
- (4) 関係機関等への諸手続き

2-1-3: 広報機能の強化

本法人の活動状況や、両大学が取組む連携事業の取組を両大学の学生及び地域社会をはじめとする関係者に広く周知するため、様々な広報媒体及び諸活動を通じて、次の事業を行う。

- (1) 参加大学への進学希望・検討者を対象としたホームページの充実
- (2) 参加大学の学生への活動内容の周知活動
- (3) 地元高校生をはじめとする進学希望者を対象とした PR 活動
- (4) 各種連携事業の実績等の広報
- (5) 広報活動に使用するシンボルマークの策定

- (6) 報道機関等からの取材対応
- (7) 高等教育機関等からの問合せ対応
- (8) ホームページを活用した本法人の適切な情報公開

2-2: 大学等連携推進事業関係

2-2-1: 大学等連携推進事業の運営体制の強化

地域社会及び学生のニーズを把握し、両大学が連携して行う各種事業に反映させるなど、本法人が一定のガバナンスを掛けることで実効性を担保する仕組みを構築するため、次の事業を行う。

- (1) 大学等連携推進評議会を活用し、様々なステークホルダー等から本法人の事業内容や運営に対する意見を聴取
- (2) 地域社会からの高等教育に対する意見等を聴取するため、関係機関等との連携を検討
- (3) 両大学の大学間連携に係る関連部署と定期的に情報共有や、意見交換を実施することで、企画・立案機能を強化

2-2-2: 大学等連携推進事業の実施体制の整備

連携事業の円滑な実施や教育の質を担保する仕組みを稼働させるため、次の事業を行う。

- (1) 連携事業実施委員会
 - ① 委員会傘下に設置した検討 WG に関して、効率的な活動ができるよう、規模や検討事項の整理を図ったうえで、再編を行うとともに、必要に応じて新たな検討 WG を立ち上げる。
 - ② 傘下検討 WG からの意見を踏まえ、連携事業に係る基本方針や管理運営に係る事項について協議し、円滑な事業実施を図る。また、必要に応じて検討の方向性を提示するなど、遅滞なく連携事業の計画を策定する。
- (2) 教育の質保証委員会
 - ① 両大学の質保証システムを活用した教学管理体制の構築に向け、教育の質保証委員会では、教育分野に係る事業を評価するとともに、質保証を担保するため、必要となる基準等を整備し、事業の検証を行う。

2-2-3:具体的な大学等連携推進事業の実施

大学等連携推進方針及び中期事業計画並びに本事業計画書に定める活動方針に沿って、令和4年度は教育及び研究並びに管理運営をはじめとする様々な分野において、以下の大学間連携事業を実施する。

(1) 学生教育の充実

- ① 両大学の強み・特色を活かし、役割分担を定め、引続き、教養教育分野での“連携開設科目”を開設し、昨年度よりも対象となる科目数を増やすことで、参加大学における充実した教養教育を提供する環境整備に寄与する。また、“連携開設科目”の開設にあたっては、昨年度の実施状況や、学生のアンケート結果等を踏まえ、履修環境の改善を図ることで、履修者数を増加させる(令和4年度開設予定の連携開設科目は別紙を参照)。
- ② 連携事業実施委員会傘下の教養教育WGが中心となって、年度内に教養教育全体における連携の在り方に関する基本方針を策定し、令和5年度の事業内容に反映させる。
- ③ 社会的ニーズが高まっているデータサイエンス教育の充実に向けた検討と見直しを行い、次年度に向けた具体的な事業計画を策定する。

(2) 高度専門人材の養成

- ① 看護教育分野では、令和4年度前期から参加大学における大学院(修士課程)の一部専門科目を“連携開設科目”とする。また、次年度以降の科目数を見据え、参加大学間で“連携開設科目”に対する要望調査や、情報交換を実施する。
- ② 幼児教育分野では、学士課程の専門科目について、参加大学間の連携の在り方を検討するとともに、試行的な取組を行い、令和5年度から“連携開設科目”を開設できるよう準備を進める。また、大学院における幼児教育領域に関するニーズ調査を実施し、具体的な検討の方向性を確定する。
- ③ 教職課程に関しては、各大学及び教職課程WGで将来構想等の検討を行ったうえで、令和5年度から一部科目を“連携開設科目”として開設できるよう準備を進める。
- ④ 令和5年度から大学院での特別教育プログラムの実施を目指し、必要となる準備を進める。

- ⑤ 幼児教育・看護教育・社会科学等の各分野においては、引続き、各検討 WG が中心となり、専門教育に係る連携事業を展開するとともに、教学上の特例措置を活用した共同教育課程の設置など、将来的な連携事業の実施に向けた具体的な検討を行う。

(3) 教育資源の有効活用

- ① 施設の共同利用や参加大学の学生を対象とした共同就職支援事業の開催など、参加大学間の教育資源を活用した取組事例を増やす。
- ② リカレント教育に関するニーズ調査等の結果を踏まえ、カリキュラム等の検討を行い、本法人のガバナンスのもと、参加大学の教育資源を活かし、地域住民など、広く一般を対象とした地域貢献活動(リカレント教育等)を行う。

(4) 学生及び教職員の交流

- ① 新型コロナウイルスの感染状況を勘案したうえで、学生支援活動や学生生活の場において、参加大学の学生交流機会を確保する。
- ② 教職員の能力開発のための合同教職員研修や事務系職員の人事交流など、参加大学の教職員のスキルアップに繋がる事業を引続き、実施する。

(5) 効率的な大学運営

- ① 参加大学の連携により、スケールメリットを活かした共同調達等の実施により、ランニングコストの縮減を進め、業務の効率化を図る。

2-2-4:その他

(1) 補助事業への協力

- ① 参加大学が、大学等連携推進法人制度を活用した各種補助事業の申請を行う場合や、採択後の事業実施にあたっては、積極的な協力を行う。

以上

令和4年度 連携開設科目一覧

主幹大学	継続	新規	合計
山梨大学	36	20	56
山梨県立大学	12	64	76
合計	48	84	132

(教養教育分野)

注)番号が網掛けになっているものは「継続科目」、白地は「新規科目」です。

No.	科目名	主幹大学	備考
1	書の様式と鑑賞	山梨大学	前期
2	医工学と現代社会	山梨大学	前期
3	医療の最先端	山梨大学	前期
4	人体の生命科学	山梨大学	前期
5	健康とスポーツの科学	山梨大学	前期
6	大学生活のためのセルフマネジメント	山梨大学	前期
7	家庭の中のエレクトロニクス	山梨大学	前期
8	ワインと宝石	山梨大学	前期
9	ガイア仮説と地球システム科学	山梨大学	前期
10	自然災害と都市防災	山梨大学	前期
11	光る分子の科学	山梨大学	前期
12	日本事情 I	山梨大学	前期
13	大学生のための言語表現	山梨大学	前期
14	国際理解と多文化共生	山梨大学	前期
15	こころと体の障害の理解と支援	山梨大学	前期
16	グローバルヘルス入門	山梨大学	前期
17	これからの機械技術	山梨大学	前期
18	ソフトウェアプロジェクト管理	山梨大学	前期
19	特別支援教育総論	山梨大学	前期
20	Health System and Well-being in the World	山梨大学	前期
21	人間と文化	山梨県立大学	前期
22	山梨学I	山梨県立大学	前期
23	生活環境論	山梨県立大学	前期
24	生と幸福	山梨県立大学	前期
25	国際協力	山梨県立大学	前期
26	人間と心	山梨県立大学	前期
27	宇宙の科学	山梨県立大学	前期
28	日本の歴史	山梨県立大学	前期
29	欧米の歴史 I	山梨県立大学	前期
30	簿記論	山梨県立大学	前期
31	倫理学	山梨県立大学	前期

No.	科目名	主幹大学	備考
32	共生社会論	山梨県立大学	前期
33	統計学基礎	山梨県立大学	前期
34	生活健康科学	山梨県立大学	前期
35	VUCA時代のキャリアレジリエンス	山梨県立大学	前期
36	地域しごと概論(経営マインド)	山梨県立大学	前期
37	地域資源の保全と活用	山梨県立大学	前期
38	情報発信の手法	山梨県立大学	前期
39	ローカルガストロノミー論	山梨県立大学	前期
40	多文化共生地域課題 (多文化社会における対人援助/外国人と人権)	山梨県立大学	前期
41	多文化対応人材育成演習(教育)	山梨県立大学	前期
42	多文化対応人材育成演習(保健・医療・福祉)	山梨県立大学	前期
43	データサイエンス入門	山梨大学	後期
44	子ども文化	山梨大学	後期
45	現代生活とバイオテクノロジー	山梨大学	後期
46	頭と身体の運動学	山梨大学	後期
47	臨床心理学を学ぶ	山梨大学	後期
48	人間とコンピュータ	山梨大学	後期
49	クリスタルサイエンス	山梨大学	後期
50	水圏植物の生物学	山梨大学	後期
51	生命を科学する	山梨大学	後期
52	プラスチックの科学	山梨大学	後期
53	富士山学	山梨大学	後期
54	日本古代の政治と文化	山梨大学	後期
55	日本事情Ⅱ	山梨大学	後期
56	How to Effectively Study a Foreign Language	山梨大学	後期
57	ドイツ語圏の文学	山梨大学	後期
58	物理パズルで親しむ身近な自然現象	山梨大学	後期
59	地球環境化学とエネルギー	山梨大学	後期
60	メカトロニクス入門	山梨大学	後期
61	現代教育政策論	山梨大学	後期
62	社会と政治	山梨県立大学	後期
63	環境論	山梨県立大学	後期
64	山梨学Ⅱ	山梨県立大学	後期
65	日本語の方言と山梨	山梨県立大学	後期
66	文化とコミュニケーション	山梨県立大学	後期
67	運動と人間－講義(飯田)	山梨県立大学	後期
68	運動と人間－講義(池田)	山梨県立大学	後期
69	人間と思想(飯田)	山梨県立大学	後期
70	生物の科学	山梨県立大学	後期
71	労働法	山梨県立大学	後期
72	簿記演習	山梨県立大学	後期
73	地域のチャレンジ1	山梨県立大学	後期
74	地域のチャレンジ2	山梨県立大学	後期

No.	科目名	主幹大学	備考
75	おもてなしマイスター養成講座	山梨県立大学	後期
76	観光実践マネジメント講座	山梨県立大学	後期
77	多文化社会とことば	山梨県立大学	後期
78	地域課題解決(多文化共生)	山梨県立大学	後期
79	グローバルビジネススキル	山梨県立大学	後期
80	事業づくり実践演習	山梨県立大学	通年
81	政策づくり実践演習	山梨県立大学	通年
82	多文化共生サービスラーニング	山梨県立大学	通年
83	フューチャーサーチ	山梨大学	集中
84	災害支援	山梨県立大学	集中
85	グローバルマインドとスキル	山梨県立大学	集中
86	地域しごと概論(地域づくり)	山梨県立大学	集中
87	問題発見の技法	山梨県立大学	集中
88	料理とワインのマリアージュ	山梨県立大学	集中
89	通訳入門実践	山梨県立大学	集中
90	実用中国語	山梨県立大学	集中
91	ネイチャーガイド演習1	山梨県立大学	集中
92	ネイチャーガイド演習2	山梨県立大学	集中
93	日本ワイン歴史マイスター養成講座	山梨県立大学	集中
94	ワークショップデザイン	山梨県立大学	集中
95	まちづくりの思想と技術	山梨県立大学	集中
96	事業づくりの技法	山梨県立大学	集中
97	政策づくりの技法	山梨県立大学	集中
98	ローカルデザイン実践演習	山梨県立大学	集中
99	企業がチャレンジする経営革新	山梨県立大学	集中
100	国際貿易実務	山梨県立大学	集中
101	事業計画づくりワークショップ	山梨県立大学	集中
102	トレンド予測の手法	山梨県立大学	集中
103	イノベーション創造の基礎と実践	山梨県立大学	集中
104	ブランディング基礎と実践	山梨県立大学	集中
105	企業におけるレクチャーと現場研修	山梨県立大学	集中
106	保健医療福祉における文化理解	山梨県立大学	集中
107	芸術活動をとおした多様性協働プロジェクト	山梨県立大学	集中
108	多文化共生の現場を歩く	山梨県立大学	集中
109	アントレプレナーシップとスキル	山梨県立大学	集中
110	アイデア共創実践	山梨県立大学	集中
111	ビジネス共創実践	山梨県立大学	集中

(留学生対象科目)

No.	科目名	主幹大学	備考
112	日本語演習A	山梨大学	前期
113	日本語初中級IA	山梨大学	前期
114	日本語初中級IB	山梨大学	前期

No.	科目名	主幹大学	備考
115	日本語中級IA	山梨大学	前期
116	日本語中級IB	山梨大学	前期
117	日本語中上級I	山梨大学	前期
118	日本語上級I	山梨大学	前期
119	ビジネス日本語	山梨大学	前期
120	現代日本事情	山梨県立大学	前期
121	アカデミックジャパニーズ(Writing)	山梨県立大学	前期
122	アカデミックジャパニーズ(Reading)	山梨県立大学	前期
123	日本語初中級ⅡA	山梨大学	後期
124	日本語初中級ⅡB	山梨大学	後期
125	日本語中級ⅡA	山梨大学	後期
126	日本語中級ⅡB	山梨大学	後期
127	日本語中上級Ⅱ	山梨大学	後期
128	日本語上級Ⅱ	山梨大学	後期
129	日本語LR	山梨大学	後期

(看護教育分野:大学院)

No.	科目名	主幹大学	備考
130	国際看護学特論	山梨大学	前期
131	看護政策学	山梨県立大学	前期
132	コンサルテーション	山梨県立大学	後期